

市響

第443回「ファミリー交響楽」
令和7年度市川市芸術祭



2025

12/7 日

14:00開演 (13:30開場)
市川市文化会館大ホール
(JR総武線・本八幡駅下車)

お問い合わせ: main@ichikyo.org 市響ホームページ: <http://ichikyo.org/>
主催: 市川交響楽団協会 共催: 市川市 協力: 山崎製パン株式会社 株式会社全日警 株式会社伊藤楽器 後援: 千葉交響楽団協会

本日のプログラム

〈ハンガリーの作曲家をあつめて〉

リスト (1811 - 1886) ハンガリア狂詩曲第2番

コダーイ (1882 - 1967) ガランタ舞曲

🎵 休憩 (20分)

バルトーク (1881 - 1945) オーケストラのための協奏曲

第1楽章 序章

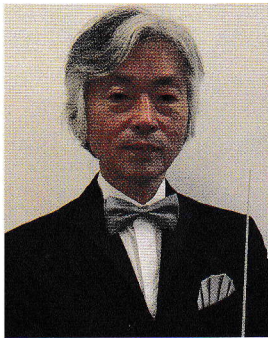
第2楽章 対の提示

第3楽章 悲歌

第4楽章 中断された間奏曲

第5楽章 終曲

プロフィール



指揮／田久保裕一 (たくぼ・ゆういち)

東京学芸大学音楽科卒業。チェロ・室内楽・指揮を学ぶ。1980年～1992年まで12年間、千葉県習志野市にて小中学校の音楽教師を務める。1992年に退職しプロの指揮者に転向。1992年～1993年、スイスとウィーンでリヒャルト・シューマッヒャー、カール・エスターライヒャー、湯浅勇治、ハンス・グラーフの各氏に師事。

1994年11月、ルーマニア・ブラショフ市で開催された第4回「ディヌ・ニコレスク」国際指揮者コンクールにてグランプリ、審査員特別賞と聴衆特別賞を受賞。その後ルーマニア国内をはじめウィーン、ザルツブルク、ニューヨーク、ベルリン、カザフスタン、ソウル、ベトナム、中国など世界各地で多数指揮をしている。

これまでに、国内の主要オーケストラを指揮。また全国のアマチュアオーケストラや合唱団の育成にも尽力。エネルギッシュで熱い人柄で、行く先々で音楽ファンをふやし、地域文化の活性化に一役買っている。また合唱指揮法DVD「指揮のABC」と「田久保先生の熱血指揮クリニック」は大好評で重版が続いている。

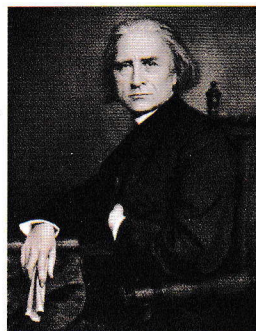
日本指揮者協会幹事、日本吹奏楽指導者協会会員、2002年より中国内モンゴル民族歌舞劇院交響楽団名誉客演指揮者

ハンガリーは、地理的に中央ヨーロッパ(中欧)に分類されますが、歴史的・文化的な区分や旧社会主義国としての側面から東ヨーロッパ(東欧)に含められることもあります。

その歴史は常に周囲の強大な国家の影響を受けてきて、特に16世紀以降、トルコを中心に広大な地域を支配したオスマン帝国や、オーストリアを中心としたハプスブルク帝国の支配下に長く置かれていました。このため、ハンガリーは独自の文化や言語を持ちながらも、独立を勝ち取るために長い時間を要しました。

こうした歴史的背景は、音楽にも色濃く反映されています。抑圧されながらも失われなかった独立への強い願い、国境を越えて入ってくる多様な文化が、ハンガリーの音楽に情熱的で、どこか哀愁を帯びた、力強い個性を与えているのです。

ハンガリーの音楽を語る上で欠かせないのが、** 民族音楽(フォークロア)**との深い結びつきです。



リスト /ハンガリア狂詩曲第2番

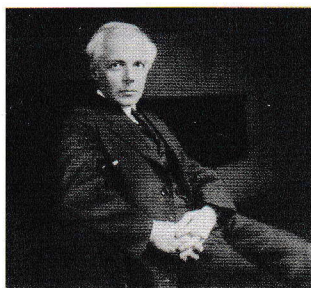
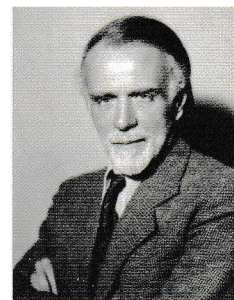
19世紀のロマン派音楽の時代、ヨーロッパでは自国の文化や歴史を音楽で表現しようとする「国民楽派」が盛んになります。ハンガリーでも、リストらが、ロマ(ジプシー)の演奏するヴァイオリンの技巧的な旋律や、情熱的なリズムを取り入れた作品を生み出し、国際的な注目を集めました。しかし、この時代の「ハンガリー音楽」とされていたものには、実際はロマの音楽が多く含まれており、真のハンガリーの農民音楽とは異なる部分もありました。

この曲もリストが耳にしたハンガリーの民俗舞曲や、ロマ(ジプシー)の演奏にインスピレーションを得て作曲されたものです。曲は、「ラッサン」(Lassan: ゆっくりと、落ち着いた)と呼ばれる、憂鬱で物悲しい雰囲気と、後半の「フリスカ」(Friska: 陽気に、速い)では一転して熱狂的な舞曲になります。

20世紀に入ると、バルトークやコダーイといった作曲家たちは、その違いを明確にしようと立ち上がります。彼らは蓄音機を携えてハンガリーの農村をめぐり、失われつつあった純粋な農民の歌を大量に採集・研究しました。彼らの音楽は、この民族音楽の旋律、リズム、そして独特の音階を基盤とし、フランスやドイツの現代的な作曲技法と融合することで、力強く、そして知的な「新しいハンガリー音楽」を確立しました。この民族音楽への深い探求が、彼らを近代音楽の巨匠へと押し上げたのです。

コダーイ/ガランタ舞曲

この曲は、現在はスロバキア領の街ガランタで演奏されていたロマの楽団による「ヴェルブンコシュ」という舞曲を基に作られています。「ヴェルブンコシュ」はもともと兵士を募集するための踊りでした。まるで賑やかな村の祭りやダンスホールにいるかのような、躍動感あふれる音楽が展開します。郷愁と楽しさが入り混じる、洗練された民俗舞曲の傑作です。



バルトーク/オーケストラのための協奏曲

バルトークは、1940年にナチスの影響が広がるヨーロッパを避け、アメリカに亡命しました。しかし、慣れない異国での生活、白血病、そして祖国ハンガリーの戦況への悲しみから、極度の貧困と絶望に陥りました。その窮状を見かねたのが、同郷の指揮者フリッツ・ライナー、ヴァイオリンのシゲティなどの友人たちでした。彼らはボストン交響楽団の指揮者クセヴィツキーに働きかけ、バルトークに委嘱したのがこの曲です。この依頼金は、バルトークにとって文字通り命綱となり、創作意欲を取り戻すきっかけとなりました。晩年の傑作です。

第1楽章はバルトークの歌劇『青ひげ公の城』を思わせる神秘的な導入部から始まる序章です。「対の遊び」と呼ばれる私のお気に入り**第2楽章**は、ファゴットは短六度、オーボエは短三度、クラリネットは短七度、フルートは完全五度、トランペットは長二度と2本の同じ管楽器が音程差とメロディを変え、その特徴を聞かせてくれます。中間部の金管楽器のコラールも素敵です。**第3楽章**「悲歌」も『青ひげ公の城』を思わせる旋律で、彼の祖国への郷愁や悲しみが聞こえます。**第4楽章**「中断された間奏曲」では、素朴で美しいメロディが流れている途中で、突然俗っぽい、調子の外れた音楽が乱暴に割り込んできて、メロディを「中断」してしまいます。**第5楽章**は溜まっていたエネルギーが一気に解放されるような盛り上がり。ハンガリーの舞曲のリズムが炸裂し、オーケストラの全楽器が高度な技術を披露しながら、力強く曲を締めくくります。

本日取り上げたという3人の作曲家は、それぞれの時代と立場でハンガリーの「魂の音楽」を追い求めました。ロマン派の情熱で「ハンガリーの音楽」を国際的に知らしめたリスト。故郷への愛と民族音楽への探求を、優雅で洗練されたオーケストラの響きで表現したコダーイ。真の農民音楽を究め、それを20世紀の革新的な技法と融合させて、人類的な傑作を築いたバルトーク。この3曲を続けて聴くことで、ハンガリー音楽の情熱的な進化の歴史を感じていただければ幸いです。

2025.10.19 市川市文化会館小ホール

「市響と未来のピアニスト」コンサートを開催いたしました



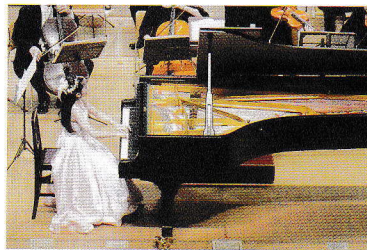
インターネットの統計によると「子供の習い事ランキング 2024」で「ピアノ」が音楽系で第1位(全体で4位)とのことでピアノを習っている児童生徒の皆さんは日々レッスンに通い、発表会に向けて頑張っていることと思います。

今回、市川交響楽団では「一緒に協奏曲やりませんか?」との呼びかけでこの演奏会が実現しました。出演のピアニストの皆さんには「オーケストラとの共演」の楽しみを経験していただきました。

モーツァルト / ピアノ協奏曲 第19番 ヘ長調 K. 459



第1楽章 畠野葵(講師)



第2楽章 坪内芽生(小5)



第3楽章 仁平絢菜(高1)

モーツァルト / ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K. 488



第1楽章 時田菜々子(中1)



第2楽章 中津隈佑香(中3)



第3楽章 戸田康介(小4)

ハイドン / ピアノ協奏曲 第11番 ニ長調 Hob. XVIII:11



第1楽章 畠野百萌(高1)

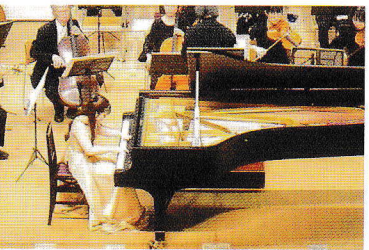


第2楽章 瀬尾梓(高2)



第3楽章 中津隈美月(中1)

モーツァルト / ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K. 467



第1楽章 森谷紗衣(大1)



第2楽章 草下真那(小4)



第3楽章 根津理恵子(特別ゲスト)



市川交響楽団協会 (いちかわこうきょうがくだん協会)

市川交響楽団協会は昭和 26 年(1951)7 月に発足し、千葉県内に健全な純音楽の普及と啓蒙をはかり、クラシック音楽の愛好者層を増し、平和な潤いのある生活がみちあふれる事を願う文化団体です。しかも音楽の中で最も強力に共鳴感を起させるシンフォニックな楽団の育成と、その演奏活動の実践を容易ならしめるための社会教育団体でありまして、利益を得る団体でも、ただ自分中心の趣味だけを満足させる同好会でもありません。

自分達のクラシック音楽を表現する喜びを少しでも多くの人に分け与えようとする奉仕団体として、地元市川市を本拠地に演奏活動を行っております。当協会は、市川交響楽団、市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、市響ジュニアオーケストラ、行徳混声合唱団の演奏 5 団体および市響ジュニア育成会によって組織されております。

平成 21 年(2009)2 月にはこれまでの 60 年近くにわたる演奏活動と、今後の永続的な展開を期待され、市民の推薦による市川市民芸術文化奨励賞を受賞しました。

「市川交響楽団協会」は平成 30 年(2018)11 月に商標登録を行いました。(登録第 6103031 号)

市川交響楽団幹事長時田雄は兼務する千葉交響楽団協会理事長として令和 4 年度千葉県教育功労賞(文化芸術の部)を受賞しました。千葉県内のアマオケ活動の展開のなかで地域音楽文化振興の活動についての評価をいただいたものと理解しています。

【コンサートミストレス】

立 田 祥 子

【第1ヴァイオリン】

石 崎 俊 信
大 橋 一 郎
皆 合 愛 子
桑 原 啓 輔
佐 藤 薫
佐分利 幸 江
萩 原 詩 織
秦 一 宜
羽 深 理 絵
細 貝 春
三 野 彰 久
矢 口 華 月
渡 辺 綱 介

【第2ヴァイオリン】

岩 田 徳 子
滝 澤 葉 子
富 田 八江子
中 島 雪 香
野 村 円 香
服 部 恵 子
早 川 貴 子
牧 田 太 郎
溝 田 範 子
武 藤 敦 子
森 郁 子
柳 澤 敦 子
山 本 芳 功
渡 辺 真 紀

【ヴィオラ】

石 本 恵 理
内 田 綾 美
大 橋 かおる
高 橋 陽 介
谷 口 善 樹
奈良林 弘 子
星 乗 昭
本 郷 尚 子

【チェロ】

泉 谷 良 枝
岩 田 理 人
倉 澤 倫 子
倉 澤 由 和
中 村 公 一
中 元 悦 治
日 澤 優
福 原 耕 二
布 施 哲 也
八重樫 妙 子

【コントラバス】

池 田 和 正
入 村 尚 美
上 村 啓 介
太 田 真 実
神 代 順 子
番 場 仙 嘉

【フルート】

秋 山 愛 美
佐 藤 洋 行
二 木 陽 子

【オーボエ】

白 木 広 美
二 村 直 子
本 間 広 樹

【クラリネット】

赤 井 美 奈
秋 永 直 美
井 垣 貴 嗣
時 田 雄
半 藤 嗣 人
八 木 良 子

【ファゴット】

遠 藤 由紀子
金 坂 哲
山 内 静
渡 部 絵梨佳

【ホルン】

井 村 公 子
木 下 泰 斗
嶋 村 恒 夫
武 井 綾 香
林 田 朋 子

【トランペット】

田 崎 真 二
新井本昌 宏
十 川 雅 彦

【トロンボーン】

石 黒 弘 道
藤 平 一 仁
藪 崎 裕 至

【テューバ】

渡 邊 鐵 雅

【打楽器】

篠 崎 美奈子
鈴 木 充
都 筑 裕
時 田 裕
和 田 英 恵

【ハープ】

佐 藤 理絵子
本 間 美貴子